

【製造業】①



【製造業】②

企業の声（順不同）

動植物油脂製造業	千葉地域での雇用に関しては人手が不足し、人件費が増加している。
木製家具製造業	ガソリン代や高速料金の上昇がかなり痛い。「緩やかな回復」なんて、役人の戲言。
オフセット印刷業	県外からの受注割合が増えています。できれば、千葉県内だけで仕事をしたいのですが・・・。
オフセット印刷業	パソコン普及の影響により、受注が減少している。
建設用金属製品製造業	当社(当工場)の売上、採算は上がっているが、構造的な上昇ではなく、輸出品オーダー好調による一時的な要因によるものである。現状、国内向けオーダーはやや横ばいとなっており、今後、消費税率10%への引き上げ実施による国内向け需要の低下、仕入価格の上昇化などの影響で、以前のような適正レベルを超えた円高に戻ってしまうことがないか懸念している。
建設用金属製品製造業	好業績の大企業も多々あるようですが、まだまだ中小零細企業ではほとんど好転していないように思います。いつもながらこの先の期待はしていますが、なかなか思うようにいかないものです。遠方への出張作業が多い時は、燃料費の高騰と高速料金のETC割引廃止の影響で相当なコストアップとなり厳しい現状です。特にガソリンにおいては税金の二重課税になっていると思いますが？
物流運搬設備製造業	人手不足のため、外注に依存している。仕入単価が高くとも、工程の問題のため仕入をしないといけない。よって利益率が悪化している。
建設機械・鉱山機械製造業	当社は建設基礎資材のソースおよび修理製作の会社です。関東においては景気はまだ横ばい、東北は震災復興需要があり活況となっています。
金属工作機械製造業	新規事業が立ち上がり、現状からの脱皮を目標とし、今期中に新規事業にシフトして、来期は事業の中心となるよう願っています。売上の前期の倍が今期、来期は今期の倍が目標です。
生産用機械・同部品製造業	景況は少しずつ上昇気運だが、下請を取り巻く環境は厳しい。金融緩和政策が、延命措置で終わらないよう期待する。
理化学機械器具製造業	昨年同月に比べて売上は若干増加していますが、この増加傾向が継続するのか一時的なのか、現時点では予測が難しい状況です。
電子管製造業	主な取引先である通信業界の設備投資が縮小気味で、今後の先行き見通しが不安である。下期の予算がどのようになるか、期待はしている。
集積回路製造業	仕入先が海外のため、円安は大変厳しいです。1ドル90円代ですと助かるのですが、100円代ですと利益率が悪くて利益が出ません。
電力開閉装置製造業	受注単価が厳しくなっていることは事実。企業としては現状にあわせて努力するしかない。
船舶製造・修理業	消費税率引き上げ後の売上高や消費動向、人手不足に伴う自社・取引先・地域への影響と具体的な対策、受注単価や販売価格の動向、そして原発事故の影響、といったものに注目している。